

# 陽の里



社会福祉法人 新生会  
総合ケアセンター サンビレッジ  
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1501番地  
TEL (0585) 45-5545(代)  
URL <https://www.sun-village.jp/>



## No.165

テーマ 「つながる」



## 忍者ランド

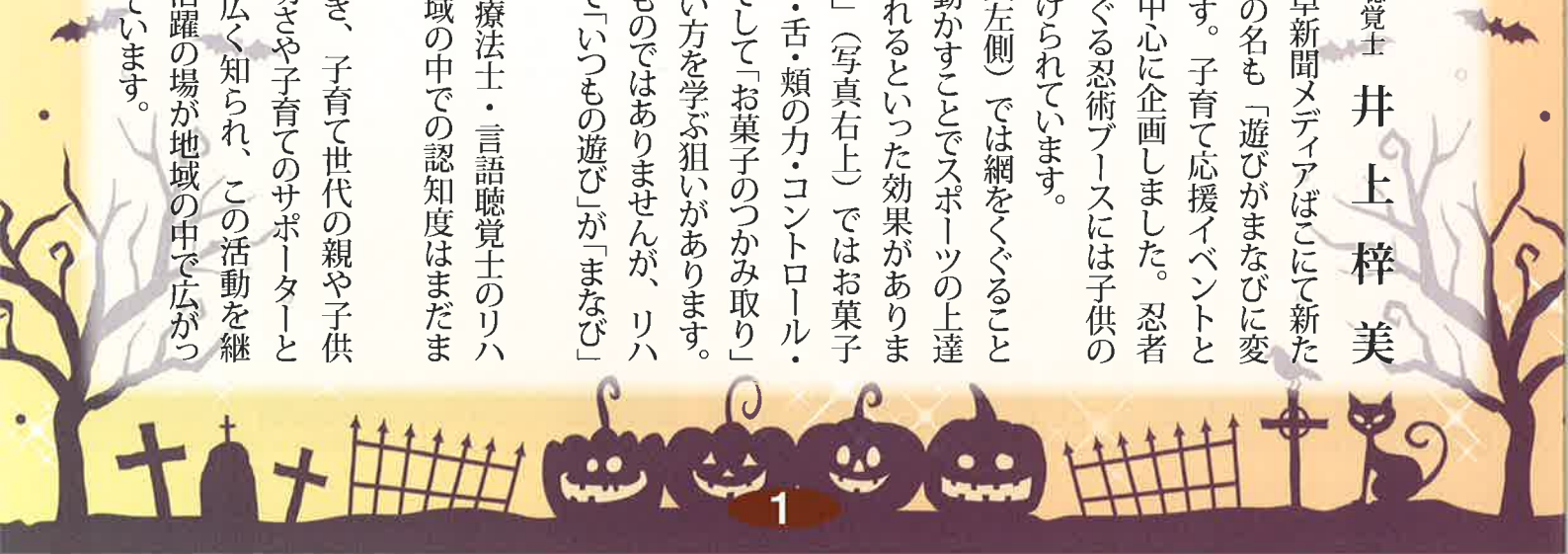
生活療法リーダー 言語聴覚士 井上 梓美

昨年からモレラ岐阜にある岐阜新聞メディアばこにて新たな取り組みが始まりました。その名も「遊びがまなびに変わる? わくわく忍者ランド」です。子育て応援イベントとして新生会のリハビリ専門職を中心に企画しました。忍者になりきり体を動かしながらめぐる忍術ブースには子供の成長や発達を促すヒントが仕掛けられています。

例えば「すいとんの術」(写真左側)では網をくぐることで自分の体をイメージして体を動かすことでスポーツの上達やドッチボールで上手によけられるといった効果があります。他にも「全集中!顔変の術」(写真右上)ではお菓子の食べ方に工夫することで、唇・舌・頬の力・コントロール・感覚のUPにもつながります。そして「お菓子のつかみ取り」(写真右下)は、道具の選択や使い方を学ぶ狙いがあります。それぞれの遊びは決して特別なものではありませんが、リハビリ専門職の視点で関わることで「いつもの遊び」が「まなび」に変わるのです。

新生会には作業療法士・理学療法士・言語聴覚士のリハビリ専門職がいます。しかし地域の中での認知度はまだまだ低いように感じます。

リハビリ専門職が地域に向き、子育て世代の親や子供とつながることで「遊び」の大切さや子育てのサポートとしてリハビリ専門職の存在が広く知られ、この活動を継続することでリハビリ専門職の活躍の場が地域の中で広がっていくきっかけとなることを願っています。



# 「移動スーパー はじ丸」

トータルサポートセンター

リーダー 岩崎 奈津子

令和7年2月、サンビレッジ新生苑にて、買い物支援サービス「移動スーパー はじ丸」がスタートしました。このサービスは毎月第1・第3木曜日の午後を実施されており、「デイサービスご利用者だけでなく、入所されている方やご近所の方々も足を運んでくださっています」。

普段、買い物に行きたくてもなかなか行けない方々にとって大変喜ばれており、あるご利用者は「私が作ると息子が喜ぶのよ」と話しながら、袋いっぱいにお買い物をされ、デイサービスから帰宅後に夕飯を作られる方も見えました。

また、ある男性利用者の方はお肉を購入され、後日「奥さんと召し上がったのですか？」とお尋ねすると、「自分で焼いて一人で食べたよ。おいしかった」と笑顔で話してくださいました。

そのとき私は、てっきり奥様に調理してもらったのだらうと思っていたため驚くと同時に、この方が

料理をする力をお持ちであることを知り、意外な一面を垣間見ることができました。

普段は、ご家族に食べたい物を買ってきてもらう方が多い中で、移動スーパーを利用することで「自分で見て選ぶ楽しみ」や「自分でお金を払う」といった体験ができ、社会性の維持にもつながっています。

こうした体験は、ご利用者の満足度向上にも大いに寄与しているのではないかと感じています。



# 川辺の図書館 あさぎいろが 生み出す 新たな地域交流

サンビレッジ国際医療福祉専門学校

言語聴覚学科 森 和歌子

2024年11月、サンビレッジ校講堂前にオープンした「川辺の図書館 あさぎいろ」。人と人が「本」を介した新たな交流ができるようにと願いを込め、開設しました。

教職員それぞれがお勧めする本をメッセージとともに並べ、好きなどきに読めるようにしています。木材の温かな雰囲気大切にしたい本棚とベンチを準備し、自由に過ごせる場所を作りました。空き時間に休憩をしている学生がいれば、私たち教員もリフレッシュのために立ち寄り、学校訪問者と気軽に話をする場として使ったりと様々な活用をしています。

はじめは学校内に限った活動から開始しましたが、私たちがあさぎいろの存在意義を考えていく中で「学校と地域を結ぶ新しい拠点」としてその「あり方」を模索してきました。

今年度からは地域に向けた活動として、5月に「絵本の世界を楽しむ会」、7月には「草木染めワークショップ」を

シヨップ」を

開催し、多くの方々に参加していただきました。絵本の世界を楽しむ会では言語聴覚学科学生による

絵本の読み聞かせを行い、言語聴覚士の地域貢献について考える良い機会になりました。

あさぎいろは公共図書館とは違い、書籍数やジャンルの多さを求めるものではありません。それぞれの学びや暮らしの中で興味を持った本を持ち寄り、利用者同士がやり取りをする中で新たな気づきを得るきっかけになればと思います。イベントがきっかけであさぎいろに足を運んでいただき、本を介したコミュニケーションが地域での新たな出会いにつながる。私たちのあさぎいろが多くの人に行き交う交差点になれるよう、これからも活動を展開していきたいと考えています。



# 「しんせい語録」の読み解き

新生グループには日めくりカレンダー「しんせい語録」があります。語録には介護現場で感じたことや学んだことへのヒントが掲載されています。



## 当たり前前に

### 専門性が潜んでいる

サンビレッジ国際医療福祉専門学校

作業療法学科 中島啓一郎

サンビレッジ国際医療福祉専門学校  
の作業療法学科の教員になって、  
5年が経ちました。振り返ってみると、「教育の本質って何だろうか？」と考える5年間でした。

初めのころは「知識を教えること」を重視し、学生と接する際も「必要な知識や技術を、学生に教えないといけない！」という使命感に駆られていた時期がありました。

しかし、学生と関わる内に、各々が様々な想いや葛藤を抱えていることに目が向くようになりました。

学生の中には、想いを原動力にして学びを深めていく学生もいれば、自分に合った学習方法が見つからずに悩む学生もいます。勉強よりも学生生活を思いきり楽しみたいという学生もいます。と同時に、能力面においても、認知特性や論理的思考力、国語力といった力も各々に違って多様に溢れていることを実感しました。

これらの経験から、私自身、「多様性を前提にした関わりや学習支援」がとても大切だと感じるようになっていきました。



今では、「教育とは、学生自身が自分を理解し、自分なりの解決策を見つけていけるようサポートすること」が本質なのではないかと感じています。飛騨市での学校作業療法法の取り組みを知ったことも、そんな私の考えをさらに後押ししてくれました。

作業療法士は、「その人らしさに焦点を当てて生活を支援するスペシャリスト」です。医療福祉の従事者にとっでは当たり前である「その人を見て、個性活かす」という視点は、これからの社会に求められる専門性だと思っています。そんな当たり前が今後、広がっていくよう、これからも試行錯誤しながら、人と関わっていききたいと思っています。

## vol.46

# 「サンビレッジの仲間たち」

## 「諦めないを応援したい」

脳活リハもやい 村井優花

私は、介護福祉士の資格を取得後、老人保健施設で約6年勤務し、結婚を機に退職、子供が1歳になる時に、非常勤職員として新生会に就職し、11年になります。現在は3人の育児と仕事を両立していますが、変わらず働き続けて来られたのは、働く女性を応援する法人理念の下、一緒に働くスタッフの協力があつた事と、少人数制の通所介護という職場環境が私に合っていたからだと思います。ご利用者一人一人と接する時間も多く、その方の強みを発揮するにはどうしたら良いか等、個別のケアを考え、提供出来ることに日々やりがいを感じています。その中で、自身のスキルアップの為、昨年、認知症介護実践者研修を受講しました。課題を進める上で、一緒に働くスタッフの協力が大きく、私一人では、達成する事が出来なかつたと思います。日々の業務の中でも、ケアの難しさに直面する事がありますが、相談し合える仲間がいる事、勤務年数や勤務形態に限らず、お互いの意見を尊重し合えるこの職場環境だからこそ、私らしく働くことが出来ていると思っています。4月より新たなリーダーを迎え、新たな風を吹き込んでくれています。ご利用者、スタッフともに、その人らしくいられる環境を、みんなで創り上げていきたいと思えます。また、自分自身の経験や学びを活かして、ご利用者が安心して在宅生活を継続できるよう、精一杯支援していききたいと思えます。



# Family Voice 「ご家族の声」



グループホーム弥生  
利用者家族  
牧岡博美様

母の最期は、新生会で実施されている「お別れの会」にて葬儀を執り行いました。亡くなる前は母のしんどそうな顔しか思い浮かべることができませんでしたが、お別れの会で母が弥生で過ごした7年間の笑顔いっぱいのスライドをみて心が温まりました。



子供たちが葬儀の後に「家にいたらこんなに撮れないね。お祖母ちゃんの良い顔を見て良かったね」と話しておりました。母の最期の7年間に家族の様に寄り添って頂けたことは、母にとっても私にとっても宝物の様な時間でした。

ありがとうございました。

## フーズ



瑞穂市予防教室にて、サンビレッジフーズ管理栄養士監修お弁当を販売。

## みずほ

～瑞穂特養 2F・家族交流会～

家族と一緒にカバンを作りました。思い思いに絵を描き、世界で1つだけのカバンが完成しました。



## ほづみ駅前

「恒例! 盆踊り」

今年は、岐阜総合学園太鼓部の皆さんによる太鼓演奏で大迫力の盆踊り大会を開催しました。



## おおがき

サンビレッジ大垣  
ケアマネジメントセンター開設

今秋10月1日に、ケアマネ2名でスタートします。

介護に関するお困りごと、ご相談など遠慮なくお声掛けください。



## ひんせいえん

物故者慰霊祭は、毎年利用者の方を偲んで法要を行っています。今年はお家族11名をお迎えし、龍徳寺様の勤行を聞きながら故人を偲びました。



## みやび

アンキーノでは、毎月運営懇談会を開催し、皆さんのご意見を頂きながら情報交換をしています。8月は流しそうめんを行い、裏山から取った竹を使用し、冷水と共に流れるそうめんを頂きながら、涼を感じる事ができました。



ホームページもチェック!  
各エリア、トピックス、ブログ  
毎月更新しております。

<https://www.sun-village.jp/>